

【新刊『日本再起動』徹底解説】

17の重要戦略から導く事業・投資の勝ち筋

～テクノロジー覇権時代、チョークポイントを制する企業が次の30年を制する～

— 講師 — **アスタミューゼ(株) テクノロジーインテリジェンス本部**
Executive Chief Scientist **川口 伸明 氏**日 時 **2026年9月18日(金)** 午後4時～6時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会 場 **SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F**

[重点講義内容]

『日本再起動:日本企業の勝ち筋と戦略的不可欠性』は高市政権が掲げた17の重要戦略分野をベースに、政策解説ではなく、日本の次の30年を企業経営と投資判断に接続する戦略書です。中心概念は「戦略的自立性・戦略的不可欠性・チョークポイント」。193カ国・10億件超のイノベーションデータに一次情報を重ねた、データドリブンな分析です。

<第1部>導入:全体設計と3つのキー概念

本書の狙いと、戦略的自立性・戦略的不可欠性・チョークポイントの意味を最初に共有します。

<第2部>各章の読みどころ＝一続きの「産業マップ」(約60分)

全10章を、次の6つのテーマ群にまとめてご案内します。

1. 設計思想:第1章 失われた30年を超える設計図(前提の内側の最適化/実装OS/三段階)
2. デジタル基盤:第2章 AI・半導体・量子(AIは製造業)+第3章 情報インフラの覇権(見えないインフラ)
3. 生命と食:第4章 生命・医療・バイオものづくり+第5章 食料・農業・フードテック(計算・設計する食)
4. エネルギーとハード:第6章 エネルギー・環境(ワット×ビット/ワット×ネイチャー)
+第7章 製造・宇宙・防衛(運用側の不可欠性)
5. つなぐ・守る:第8章 物流・海洋(物流は戦略変数)+第9章 経済安全保障(守りでなく投資テーマ)
6. 統合・地政学:第10章 テクノポラー秩序(G0→抑止の再定義、日本の針路)

<第3部>チョークポイント候補と最新事例(約40分)

重点領域からチョークポイントを狙える代表事例や最新の萌芽研究を紹介

質疑応答/名刺交換**PROFILE 川口 伸明(かわぐち のぶあき)氏**

1959年 大阪生まれ。大阪府立天王寺高等学校卒。1989年 東京大学大学院薬学系研究科修了、薬学博士(分子生物学・発生細胞化学)。博士号取得直後に起業し、地球環境や文明の未来に関する国際会議プロデューサーなどを経て、2001年より、知財の多変量解析、シードベンチャー投資、事業プロデュースなどに携わる。2011年末 アスタミューゼ入社。企業・大学・官公庁の研究開発・事業化の戦略コンサルティング、有望成長領域176・社会課題105の策定、世界の研究・技術・グローバル市場の定量評価、未来推定・萌芽探索、社会課題重要度(マテリアリティ)定量化などのロジック開発に関わる。2022年より、JST「クラウド光格子時計による時空間情報基盤の構築」(東大、理研)PJに参画、潜在的アプリケーションの探索および知財戦略策定に取り組む。2020年10月 東京都庁「ポスト・コロナにおける東京の構造改革～DXを推進力として～」有識者会議提言に参加。2021年5月 経産省博覧会推進室「大阪・関西万博 日本政府館コンセプト」ヒアリング等で提言。おもな著書は『日本再起動:日本企業の勝ち筋と戦略的不可欠性』(Relic/2026年)、『2080年への未来地図』(技術評論社/2024年)、『2060 未来創造の白地図』(技術評論社/2020年)、『生体データ活用の最前線』(共著、サイエンス&テクノロジー社/2017年)、『人工知能を用いた五感・認知機能の可視化とメカニズム解明』(共著、技術情報協会/2021年)ほか多数。

